



藤 監 第 54 号
令和 2 年 6 月 18 日

藤 枝 市 長 北 村 正 平 様
藤 枝 市 議 会 議 長 大 石 保 幸 様

藤枝市監査委員 鈴木正和
藤枝市監査委員 油井和行

令和元年度 財政援助団体等監査結果報告（第3回分）

地方自治法第199条第7項の規定に基づき財政援助団体監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

なお、今回の監査は、監査委員鈴木正和と前監査委員山根一氏（令和2年5月31日付退任）によって実施したので、その旨申し添えます。

1 監査の種類

財政援助団体監査

2 監査の対象

藤枝市自治会連合会

3 監査の範囲

平成30年度及び令和元年度における財政援助に係る出納その他の事務の執行状況

4 監査の主眼及び方法

監査は、財政援助に係る出納その他の事務が適正かつ効率的に行われているかに主眼を置き、平成30年度及び令和元年度に団体に交付した藤枝市自治会連合会事業費補助金を対象に、藤枝市自治会連合会及び市民文化部協働政策課から提出された関係書類を検査するとともに、関係者から説明を求め、事業の実施状況及び補助金の執行状況について監査を実施した。

5 監査の期日

令和2年2月18日

6 監査の結果

(1) 団体の概要

ア 藤枝市自治会連合会

市内自治会相互の親睦と緊密な連絡を図り、自治会共通事業を推進し、市と協力して住民福祉と地方自治の発展に寄与することを目的として、昭和29年の市政施行に併せる形で「区長会制度」が発足した。その後、昭和45年4月に根本的に改組し、住民による自主組織として編成された40自治会による「藤枝市自治会連合会」が設立され、平成26年に現在の52自治会による構成となり、令和元年度に創立50周年を迎えた。

イ 加入自治会数（令和元年12月末日現在）

52自治会

ウ 役員及び事務局（令和元年度）

【役員】会長1名、副会長2名、副会長兼会計1名、監事2名

【事務局】事務員1名

エ 主な事業（団体の概要より）

①市長懇談会

②市民総ぐるみ交通安全運動

- ③安全・安心まちづくりの集い
- ④志太地区自治会長研修会
- ⑤3市自治会連合会三役会議
- ⑥静岡県自治会連合会事業への参加ほか

(2) 市からの財政援助（藤枝市自治会連合会事業費補助金）

平成30年度、令和元年度に藤枝市補助金等交付規則、藤枝市自治会連合会事業費補助金交付要綱に基づき交付された補助金は次のとおりである。

平成30年度 4,600,000円
令和元年度 6,000,000円

(3) 事業収支決算の状況

平成30年度及び令和元年度の収支決算及び執行状況は次表のとおりである。

ア 平成30年度 藤枝市自治会連合会収支決算

【収入】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	摘要
会費	4,069,000	3,663,000	
会費	1,560,000	1,560,000	30,000円×52自治会
特別会費	2,509,000	2,103,000	総会、自治会長研修会ほか
補助金	4,600,000	4,600,000	市補助金
繰越金	714,378	714,378	前年度繰越金
雑収入	1,016,622	997,276	社会福祉協議会団体補助金300,000円 社明運動活動費助成金400,000円 税のたより配布手数料30,000円ほか
合計	10,400,000	9,974,654	

【支出】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	摘要
事務費	711,000	627,533	
事務費	391,000	390,433	事務用品、郵送料、退任町内会長感謝状額縁、手提げ袋ほか
旅費	320,000	237,100	会議、研修会、参加旅費、中部自治会連絡協議会（鯖江市）、全国自治会連合会東京大会
会議費	1,277,000	1,264,739	
定例会費	1,167,000	1,166,535	懇親会、送別会経費ほか
役員等会議費	110,000	98,204	役員等懇親会経費ほか

項 目	予算額	決算額	摘 要
事業費	7,003,000	5,918,962	
総会費	615,000	534,000	会場借上げ料、懇親会費ほか
研修会費	769,000	95,334	志太地区自治会長研修会、 研修会講師謝礼ほか
視察費	1,900,000	1,655,840	自治会長視察研修（千葉市）、 役員視察研修（宮古島市）
慶弔費	83,000	82,992	見舞金、香典、生花、弔電料ほか
広告料	5,000	0	
交際費	107,000	106,364	志太3市自治会連合会三役会議費 ほか
三役手当	190,000	190,000	
交通安全対策費	494,000	493,880	交通安全啓発旗ほか
地域安全活動費	2,628,000	2,549,096	地域安全活動費、 自治会活動保険補填金
報償費	212,000	211,456	退任自治会長記念品
人件費	1,049,000	1,048,800	事務局職員給与
負担金	226,000	176,000	
負担金	206,000	156,000	県自連会費、観光協会負担金、 藤枝市国際友好協会会費ほか
協賛金	20,000	20,000	藤枝花火大会
雑費	56,000	55,184	西日本豪雨義援金
予備費	78,000	0	
合 計	10,400,000	9,091,218	

収入決算額 9,974,654 円

支出決算額 9,091,218 円

差引決算額 883,436 円

イ 令和元年度 藤枝市自治会連合会予算執行状況（12月末日現在）

【収入】

（単位：円）

項 目	予算額	執行額	摘 要
会費	4,436,000	3,805,000	
会費	1,560,000	1,560,000	30,000 円×52 自治会
特別会費	2,876,000	2,245,000	総会、自治会長会研修会ほか
負担金	520,000	520,000	50 周年記念事業負担金 10,000 円×52 自治会
補助金	6,000,000	6,000,000	市補助金
繰越金	883,436	883,436	前年度繰越金

項 目	予算額	執行額	摘 要
雑収入	760,564	800,692	社会福祉協議会団体補助金 300,000 円 社明運動活動費助成金 400,000 円 反射材タスキほか
合 計	12,600,000	12,009,128	

【支出】

(単位：円)

項 目	予算額	執行額	摘 要
事務費	787,000	603,762	
事務費	400,000	332,842	事務用品、郵送料、退任町内会長感謝 状額縁ほか
旅費	387,000	270,920	会議参加旅費、 中部自治会連絡協議会（金沢市）、 全国自治会連合会宮崎大会
会議費	1,277,000	760,000	
定例会費	1,167,000	760,000	懇親会、送別会経費ほか
役員等会議費	110,000	0	
事業費	7,161,000	4,967,722	
総会費	615,000	578,500	会場借上げ料、懇親会費ほか
研修会費	833,000	357,620	志太地区自治会長研修会、 研修会講師謝礼ほか
視察費	1,900,000	1,226,382	自治会長視察研修、 役員視察研修ほか
慶弔費	66,000	5,000	見舞金、香典、弔電料ほか
広告料	50,000	0	
交際費	107,000	87,000	3市役員会議費ほか
三役手当	190,000	0	
交通安全対策費	560,000	246,600	交通安全啓発旗ほか
地域安全活動費	2,628,000	2,466,620	地域安全活動費、 自治会活動保険補填金、 安全安心まちづくりの集いほか
報償費	212,000	0	
人件費	1,103,000	921,350	事務局職員給与
負担金	176,000	165,000	
負担金	156,000	145,000	県自連会費、県自連交歓会費、中部自 治会連絡協議会、全国自治会連合会東 京大会、観光協会負担金、藤枝市国際 友好協会会費ほか

項 目	予算額	執行額	摘 要
協賛金	20,000	20,000	藤枝花火大会協賛金
50周年記念事業費	2,091,000	2,089,133	
式典費	1,239,000	1,238,173	記念式典、アトラクション、記念品
記念事業費	2,000	1,580	タイムカプセル
記念誌発行費	850,000	849,380	記念誌編集発行
雑費	5,000	4,000	
予備費	0	0	
合 計	12,600,000	9,510,967	

収入済額 12,009,128 円

支出済額 9,510,967 円

差 引 額 2,498,161 円

(4) 総括

監査対象の補助金に係る出納その他の事務について監査した結果、団体の事業執行に係る事務及び経理事務において、総会等の議事録が作成されていない、会計事務担当者以外による定期的な出納簿の照合が行われていない、役員手当に係る規定が整備されていない、備品台帳が整備されていないなどの不備が見受けられたので、適正に処理するよう指導した。また、事務職員の処遇について、勤務条件通知書の内容とは異なる勤務状況が見られ、有給休暇の付与についても事務手続きが不十分であったことから、事務の見直しを図るよう指導した。

また、所管課である市民文化部協働政策課に対しては、団体に対し引き続き指導・監督するよう併せて指導した。

藤枝市自治会連合会は、団体の発足時から現在に至るまで、藤枝市と協力し住民福祉と地方自治の発展に大きな役割を果たしてきた。各種会合や視察研修などの活動を通し、52自治会が相互の親睦と緊密な連携を図り各自治会共通の事業を推進することで、心豊かな人間性を育む地域社会の形成と青少年の健全育成・防災・防犯・交通安全に寄与してきたことは評価するところである。

しかし、近年は高齢化による役員などの担い手人材の確保や、核家族化による地域内のコミュニケーション不足など、時代の変化に伴う課題が顕在化しており、その解決には苦慮しているものと思われる。今後も引き続き、これまで以上に市との連携を緊密にし、時代に即した活動を通して市民の一体感を高め、藤枝市の更なる発展に寄与されるよう望むものである。